

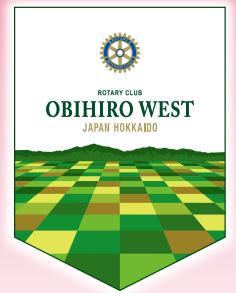


# 帯広西ロータリークラブ

## 第2269回例会

### 2019.4.18

# 会報



■RI第2500地区テーマ■

行動するロータリー、つながるロータリー  
～ロータリーの未来を考えよう～



■クラブ・テーマ■

常識を疑い、可能性に挑戦する

## ゲスト紹介

佐藤 聡 会長

株式会社帯広シティーケーブル  
取締役社長 丸山 芳明 様

## 会長報告

佐藤 聡 会長

皆さん、こんにちは。

帯広市議選も後半戦となり熱が帯びてきているのを感じますが、先週も申し上げた通り各候補がどのようなビジョンを掲げ議員になろうとしているのかしっかりと見極めたいと思います。



さて、本日の広報委員会担当例会は本年度の「公共イメージを意識した情報発信」という方針を受け(株)帯広シティーケーブルの丸山様をお迎えての例会となります。私自身OCTV様にお邪魔して番組収録した時に「短時間でものを伝えることの難しさ」というものを痛感いたしました。今日はどんな内容になるのか楽しみにしております。

伝えるといえば、先週の例会は高田浩司・岡田英樹両会員に新入会員卓話をさせていただきました。二人の話を聞きながら話の上手さに驚いたのは私だけではないと思います。目的(自分の伝えたい事)と手段(巧みな話術)を把握し大変聴きやすく印象的な話だったと思います。

(古田会員・石原会員)

当クラブには「言葉の魔術師」と言われる古田歴代会長や「沈黙の伝道師」と言われる石原直前会長のよう

な名物会員もおりますが、新入会員の二人の話の組み立て方や言い回しにも独特の個性があり一種の才能だと思いつつ大変楽しく聞かせていただきました。今後の委員会活動において益々光り輝くことを期待しております。

と云う事で今日は「才能と人格」という言葉を紹介させていただきます。

『才能は 孤独のうちに成り

人格は 世の荒波に揉まれて成る

人格を磨かずして 成功者には成らず』

当クラブのメンバーには、持って生まれた才能に満足することなく人格を磨き成功者になって頂きたいと思います。

以上、会長挨拶とさせていただきます。

## 会務報告

河西智子 副幹事

①帯広南RC、創立記念夜間例会開催のご案内

日時 4月22日(月) 午後6時30分

場所 北海道ホテル



②帯広北RC・帯広東RC・音更RC合同夜間例会開催のご案内

日時 4月23日(火) 午後6時30分

場所 ホテル日航ノースランド帯広

※尚、帯広北RCは、4月26日(金)の繰上げ例会と致します。

③帯広西RC、夜間移動例会開催のご案内(新会員歓迎会)



会長 佐藤 聡  
幹事 小谷 典之

副会長 内海 仁司  
副会長 渡部 省一

会場監督理事 田中 耕吾  
プログラム委員会理事 谷脇 正人

発行：広報委員会  
委員長 菊池 俊博 (副)松田 貴史



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

日 時 4月25日 (木) 午後6時30分

場 所 夢 人

会 費 2,000円 (当日徴収致します)

④帯広南RC、4月29日 (月) の例会は、祝日のため休会と致します。

・帯広東RC、4月30日 (火) の例会は、休会と致します。

・帯広RC、5月1日 (水) の例会は、休会と致します。

・帯広西RC、5月2日 (木) の例会は、休会と致します。

・帯広北RC、5月3日 (金) の例会は、祝日のため休会と致します。

・帯広南RC、5月6日 (月) の例会は、祝日振替のため休会と致します。

⑤帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 5月7日 (水) 午後6時30分

場 所 ホテル日航ノースランド帯広

⑥帯広RC、夜間移動例会開催のご案内

日 時 5月8日 (水) 午後6時30分

場 所 帯広神社

⑦帯広西RC・清水RC・上士幌RC、合同例会開催のご案内

日 時 5月19日 (日) 10:30~パークゴルフ交流会

12:30~合同例会

例会終了後、懇親会開催

場 所 清水町 (詳細わかり次第お知らせします)

会 費 3,000円

※尚、5月23日 (木) の繰上げ例会と致します。

## ニコニコ献金

大友広明 会員

川田 章博 会員

NPO法人トカチブの森の理事長に再任されました。ちなみに谷脇会員、太田豊会員、伊藤肇会員も理事です。



菊池 俊博 広報委員長

本日広報委員会の担当例会です。宜しくお願い致します。

大友 広明 会員

ニコニコさせて頂きました。

ニコニコ  
献金

4月18日

6,000 円

累 計

434,000 円 (4月18日現在)



## プログラム

菊池俊博 広報委員長

今日は広報委員会の第2回目の担当例会です。

先程、佐藤会長よりご紹介いただきました『株式会社帯広シティーケーブルさん』お馴染みであります通称名『OCTVさん』の『取締役社長・丸山芳明さん』にお越し頂いております。これより『地域に寄りそうケーブルテレビの出来ること』のテーマにて丸山社長にご講演頂く事となっております。宜しくお願い致します。



また先日はOCTVさんの『あおぞら放送局』番組内でのご紹介に際しましては『収録から放送』まで大変お世話になりました事をこの場をお借りしてお礼申し上げます。『あおぞら放送局』とはOCTVさんの番組名です。番組内でのご紹介では『佐藤会長に出演』頂き『ロータリー活動の一部を紹介』頂いております。先週の金曜日から1日5回の放送を1週間、繰り返されておまして、本日が放送最終日となっております。(9:00/12:30/16:00/20:00/23:00・30分)

ご自宅でご覧いただける会員の方には、是非ともTV画面の中にいる佐藤会長の姿をご覧頂ければと思っております。そして今回のこの放送を通じて、ご視聴頂いた『ロータリアン以外の方々』には、ロータリー活動に対して、共感頂けた方も多くいたのではないだろうかと思っております。会員の皆様全員が番組を視聴する事が出来ないかと思っておりますので、本日はスクリーンにて皆さんにご覧いただく予定をしております。また、西クラブの『HP・FB』への掲載のご承諾も頂いておりますので、後日掲載させて頂く予定をしております。

それでは『丸山社長』宜しくお願い致します。



## 「地域に寄り添うケーブルテレビのできること」

株式会社帯広シティーケーブル 取締役社長 丸山 芳明 様

これからお話するのも若干関連しますが、OCTV私共から色々発信するのはもちろんなんですが、うまく利用していただきたい。色んな形で、実際市役所とか色々な団体が発信をするのうちの番組、うちの電波を使っていますので、そんな事も今日お話しするテーマのひとつにもなると思います。

お声がけを頂いたときに何をお話ししようかと、そんなには話のバリエーションがある訳ではないので色々悩みました。私共民間企業ですから奉仕団体的な活動というのはゼロではないんですけど、やっぱり何が繋がるのかなというのを、せっかくこの場をお借りてお話をするのでやはり突き詰めていくと、地域貢献ではないかと。ロータリーさんの『5大奉仕』中には国際奉仕とかもございまして、私はそのワールドワイドというのはなかなか地域メディアとしては難しいんですけど、やっぱり地域貢献、どうやって地域に色々なことをやっていくかということじゃないかという事で、今回『地域に寄り添うケーブルテレビ局の出来ること』ということで表題させていただきました。そもそもケーブルテレビとは何ぞやと、なんとなく皆さんイメージをされていると思いますけども1955年昭和30年6月にですね群馬県の伊香保温泉、そこで山あいですから地上波が見れない、当時デジタルではなくアナログですけどもテレビが見れないという事でNHKさんに難視聴対策実験という事で伊香保温泉の観光協会が陳情して設置されました。最初はメタル、アナログのケーブルをひいてましたけど、今は光ケーブルになってきてますけども、その難視聴対策と欠落波これをカバーするためにケーブルテレビというものスタートをして、それをビジネスとするケーブルテレビ局ができました。私共も地域のケーブルテレビ局、ケーブルテレビ局イコール地域のケーブルテレビ局になりますけども、私共スタートの時に、自治体帯広市さんからも出資をいただいておりますので、いわゆる第三セクターということでスタートしております。民間CATV局で全国初となるFTTH（ファイバー・トゥ・ザ・ホーム）光ケーブルでお宅まで光ケーブルが行くと、ファイバー・トゥ・ザ・ホームといいます。これが一応全国で初めて、これ画期的な事なんですけど、初めてOCTVがやりました。放送

サービスのメディアもありますしエンタメもありますけども、特に災害時ですね昨年の地震、ブラックアウト、それから2016年の台風、災害時には欠くことのできない情報源となっているというふうに思っております。被害の様子、度合い、センセーショナルな、家が流されたとかそういうところとか特に民放局なんかは流しますけども、私共は地域に寄り添うという観点からしますと、例えば避難場所の情報、どこに逃げたらいいのか、逃げたらいいのか、逃げないほうがいいのか、道路の被害、交通、どこの道路が寸断してるとか、そういう地域住民にとって今必要な情報を提供する。これが私共の大きな役割だと思っております。下のほうに『ワンソースマルチユース』というのがございます。お聞きになった方もいらっしゃるかと思いますけども、これが私共の中核の考え方です。災害時の、これあの2016年の台風の後の翌年のドローンで撮った映像です。まだまだ…これその時のやつかな、これがたぶん清流大橋じゃないかと思うんですけども台風でギリギリに、このような映像もテレビで、十勝大橋ですかね。本当にここまで水が来たみたいない感じになりました。非常に、わたし清流大橋の近くに住んでいるんですけども見に行きまして、それは絶対にやっちゃいけないことなんですけども、皆さんやらないでくださいね。家内に非常に怒られました。本当にゴウゴウと言ってちょっと恐怖を覚えました。

特番、日常の番組以外に特別番組『特番』という事で色々な番組を特に生中継しております。ご存知の方も多いかと思いますし、見ていただいている方も多いかと思いますが高校野球の支部予選、夏は十勝予選を全試合生中継でやっています。あとこちらは花火大会、それから盆踊り、マラソン、成人式など色々な番組をやっておりまして、地域ならではのリアルな表情をお茶の間に届けさせていただいております。大樹のロケットの打ち上げはこれも『ワンソースマルチユース』グループ連携ですけども生中継でやっております。今月の30日3回目のロケットの打ち上げが予定しております。何とか成功していただきたいというふうに念じております。これは花火大会の映像です。去年は初めて4Kで撮りました。あとドローンを使っても撮りました。盆踊りですね。これ花火ドローンの映像です。これは左側が真正面です。ですから

真横から撮ってます。こういう映像ってのはなかなか肉眼では見れないと思います。これ帯広の街も函館まではいかないですが結構夜景が綺麗な感じがします。これ、フードバレーマラソンです。ご参加されてる方もいらっしゃるんじゃないかと思えますけども。これは学校だいすきですね。卒業だな。学校の番組は非常に涙を誘う感動的なシーンが多いですね。卒業ですとか。これはロケット、1回目のやつかな。これは、衝撃の、私これ会社で見てたんですけども、わーって上がってみんな拍手してあーあーあーあーっていう暫く声が、社内も声が出ませんでした。3回目チャレンジされます。

4K8K放送、ご理解、知ってらっしゃる方たくさんいらっしゃると思います。12月1日に今年の4K放送というのが始まりました。今までの、今現在、普通にテレビを見てらっしゃる方はいわゆる2Kというやつです。フルハイビジョンその4倍の画素数、あの携帯のカメラなんかのドドドドとなっているその画素数が増えるということで高画質・高精細な番組になってます。うちも12月1日にサービスをスタートさせました。まだそんなに付けていただいている方多くはないんですが、その時に帯広放送局さんとイベントをやりました。専用のチューナーで視聴できます。全国ではかなり増えてきてます。ただ一番はオリンピックだと思いますので、そのオリンピック・パラリンピックに向けてこれからどんどん普及していくと思います。コンテンツとしては圧倒的にNHKさんが多いです。ちょっと民放は、ちなみにこれ全部BSです。地上波では4Kはできません。それはちょっと色々専門的な話もあるんですけども。オリンピックどうするのか。NHKも民放もBSでやって地上波では4K2Kでやるのかなというふうに思います、ただこれからこれが中心になってくると思いますので、是非ご興味ある方はタケウチまでご連絡いただければと思います。これはその時のイベントです。NHKさんと、シャープだけは唯一8Kのテレビを作ってます。あの本当にキレイです。ただ、70インチだったっけ、75インチか、8Kのテレビ、これはうちが持ってた4Kテレビですけど8Kのテレビで番組やりましたけども、まあ3つ並べたらよくわかりますけど、キレイですけど何しろ番組がNHKしかありません。ちょっとこんなお遊び

の雰囲気も出しました。

最後になります。ずっとお話をさせていただきました、冒頭ロータリーさんのご活動5大奉仕にもからめて私共、地域のケーブルテレビ局が何ができるのか、何をしていたかなければいけないかと言う事を事業の中で常に考えてます。当然、放送だけではないという事も申し上げましたが、やっぱり皆様の目に入ってくるのは放送です。特に今いろいろ放送業界もキー局があり地方局ありいろいろ難しくなってきましたけども、なかなかやっぱり地元の番組っていうのは十勝毎日新聞、新聞もそうですけどもなかなか地元のニュースっていうのも流さないんですけども、私共はそこが全てです。で、地域に寄り添うです。ですから視聴者に身近で関心のある情報を日々お伝えする。日々お伝えするっていうことが私大事だと思ってます。災害時に、これも先ほどとかぶりますけども正確な情報、これはもう絶対です。プラス、スピーディー、一刻も早くという事です。地域メディアの役割は益々、いま申し上げましたが重要になってきております。ケーブルテレビ局の役割は益々重要になってきてると思っております。私共は十勝毎日新聞社グループです。映像、メディアとして皆さまに一番近い放送局だというふうに自負をしております。ですから、当然見ていただく、会長がお越しいただいたということもありますけども、うちで色々発信をする。そのうちで発信するメカニズムをぜひ皆様にご活用していただきたいと思えます。本当に企業のこんな商品だ、あんな商品だ、でも構いません。取材にも行きます。来ていただいて話もしていただきます。そういうことをうまく私共OCTVを使っていただいて、地域の色々な情報を皆さんが知っていただく、還流させていただく、それが何よりも地域に寄り添う私共帯広シーティケーブルの役割だと思っておりますので、今後ともよろしく願います。

最後になりましたけれども、この地域の皆様の毎日の暮らしに豊かさとお届けするっていうのがうちの一応、基本理念でございます。私共ビジネスの話といたしますか、商売の話ばかりで恐縮でございます。ご清聴ありがとうございました。